

海の京都エリア 宮津市 天橋立ビューランド

KYOTO GASTRONOMY AWARD 2024 開催

京都府、京都府観光連盟では、京都府域の食に関わる文化・観光資源の魅力を再発見し、応援する目的で令和5年度から「京都ガストロノミーアワード」を開催しています。

令和6年度は、「もうひとつの京都」の4エリアに「とっておきの京都」エリアを加えた5エリアを対象に、「地域特有の食」を核とした新たな食観光ツアーの創出を図るため、5コースのモデルコースを策定し、そのコースに含まれる、京都市内の一流料理人と京都府内各地の有力シェフとのコラボメニュー賞味会(バスツアー)を開催しました。また、世界遺産醍醐寺「霊宝館」にてコラボメニューを一度に楽しむ美食の祭典を実施し、特別審査員および一般参加者約100名による審査・投票により選ばれた各エリアのコラボメニューを次のとおり表彰しました。

<日時>

令和7年2月8日(土)11:00~16:00

<場所>

総本山醍醐寺「霊宝館」

<審査員>

門上 武司氏(フードコラムニスト)

磯橋 輝彦氏(京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長)

田中 誠二氏(当連盟会長、京都市観光協会会長)

トラウデン 直美氏(タレント・モデル)

<結果>

グランプリ 【海の京都】京料理 鳥米×星音

準グランプリ 【お茶の京都】草喰なかひがし×Bistrot α



「まるっと京都」ロゴマーク決定

京都府、京都市、京都市観光協会とともに共通キャッチコピーを「まるっと京都(英語表記: Go Around Kyoto)」として、府市連携による周遊観光を推進していますが、この度、ロゴマークを公募し決定しました。府市周遊観光を一層推進するため様々な場面でロゴマークを活用していきます。会員の皆様でも府市の周遊観光推進に資する広報物、物品類への使用が可能です。

申請は下記リンクまたは二次元コードから

<https://www.pref.kyoto.jp/kanko/news/2025/maruttologo.html>



観光連盟 Report

「春の花ガイドマップ2025」を作成

お出かけの参考となるよう、京都府域や京都市周辺の春の花の見どころを紹介するガイドマップを作成し、当連盟のウェブサイトから印刷できるようにするとともに、京都総合観光案内所(京なび)及び京都府内観光案内所、道の駅「味夢の里」、さくらであい館等に配架しました。

当連盟のウェブサイトでは、「春の花ガイドマップ」をはじめ、他にも観光パンフレットを公開していますので、御活用ください。



「京都府観光経営セミナー」を開催

観光事業を取り巻く環境変化に対応し、DXの考え方・技術を活用し事業展開を実行する「観光DX人材」の育成を図るため、観光関連事業者の方を対象に、「京都府観光経営セミナー 体験編」を開催しました。

<実施日>

令和7年2月13日(木)、14日(金)
20日(木)、21日(金)

<会場>

京都大学

<参加者>

20名



「京都観光おもてなし人材育成セミナー」を開催

京都府内の宿泊施設・飲食店等の観光関連事業所従業員を対象に「持続可能な観光誘客とこれからはじめる観光DX」をテーマに第3回、第4回セミナーを開催し、多様な業種から御参加いただきました。

○第3回

<実施日>

令和7年1月30日(月)

<場所>

市民交流プラザ ふくちやま

<参加者>

18名

○第4回

<実施日>

令和7年2月10日(月)

<場所>

京都商工会議所

<参加者>

38名



竹の里・乙訓地域の観光振興

○総務省「映像コンテンツを活用した地域情報発信の実証事業」の実施

竹の里・乙訓地域の「竹林景觀」、「竹工藝」、「竹料理」を訴求することを目的として、総務省「映像コンテンツを活用した地域情報発信の実証事業」を活用して、株式会社京都放送と共同でアメリカ向けの映像を制作しました。制作した映像は、令和6年12月からアメリカのディスカバリーチャンネルで放映したほか、当連盟の多言語サイト「ANOTHER KYOTO」やSNSで配信しました。



○ハイヤーモデルコースPRツールの作成

京都市内に宿泊する訪日観光客を竹の里・乙訓地域に誘客するため、ハイヤーを活用して1日周遊するモデルコースを提案するチラシを作成し、観光展や京都市内のホテルに配架しました。



○インバウンド客受入セミナーの開催

「京都西山で「観光という手法」を活用する」をテーマとして、乙訓商工・観光協議会と共催で、エリア内の観光関連事業者を対象に、インバウンド受入セミナーを実施しました。

<実施日>

令和6年11月28日(木)

<場所>

長岡京市産業文化会館

<参加者>

11名



○観光コンテンツの開発

京都府名誉友好大使や京都市内のホテルのコンシェルジュ、旅行会社関係者等を対象として、向日市の「竹の径」にて、竹垣整備体験コンテンツ開発モニター事業を実施し、今後の展開に向けて意見交換等を行いました。

<実施日>

令和7年1月22日(水)

<場所>

向日市「竹の径」

<参加者>

7名



Instagramキャンペーン「秋の色、インスタントに。」受賞作品決定

公益社団法人京都市観光協会とともに、令和6年10月15日から12月31日まで「秋の色、インスタントに。」をテーマとしてInstagramキャンペーンを実施し、京都府域の秋を感じられる写真を募集しました。

また、京都府立植物園の開園100周年を記念して令和6年10月18日から12月26日まで園内で開催された夜間イベント、「LIGHT CYCLES KYOTO」(ライトサイクルキョウト)の投稿写真も募集いたしました。

たくさんの素敵な写真を御投稿いただき、その中から、以下のとおり受賞作品を決定しました。

<海の京都賞>



舞鶴市 金剛院



綾部市 大本神苑

<森の京都賞>



綾部市 熊野神社



福知山市 多保市大池

<お茶の京都賞>



八幡市 高良神社



精華町 精華大通

<竹の里・乙訓賞>



長岡京市 光明寺



向日市 向日神社

<とっておきの京都賞>



西京 善峯寺



西京 勝持寺

<京都府立植物園開園100周年賞>



京都府立植物園 観覧温室



京都府立植物園 観覧温室

京のひとこと

京都府観光連盟では、会員の皆様へ事業内容や取り組みを発信するため、会報誌「京都府観光連盟News」を発刊しているところですが、より充実した内容をお届けするため、「京のひとこと」として、当連盟の役員によるコラム記事の掲載を開始しました。今回は、当連盟の理事である森の京都地域振興社(森の京都DMO)井上敬章社長に執筆いただきました。

森の京都地域振興社(森の京都DMO) 井上 敬章 社長

現在、嵯峨野観光鉄道㈱相談役を兼任しており、冬の休業明けの3月1日、コロナ禍などで縮小していた運行開始セレモニーが6年ぶりに開かれました。嵯峨野トロッコの醍醐味は、その絶景もさることながら、お客様、スタッフ、沿線の皆様がトロッコ列車をツールとして笑顔や感動を共有する一体感にもあります。皆の笑顔に包まれたセレモニーはその熱を感じさせるものであり、コロナ禍を乗り越えた分、非常に感慨深いものとなりました。

森の京都DMOにおいても、国内外から様々なお客様をお迎えし、「高付加価値な体験商品」「教育体験旅行」などを柱に取り組んでいます。これらの事業は、地域の暮らしや風習を体感できること、そして地域の皆様との交流が生まれることもあり、観光地を巡るだけでは得られない特別な体験に喜びの声をいただいています。

これらの経験から感じることは、価値観や国籍の多様化が進む中では、地域財産(食、風景、風習など)をツールとして、訪れる人と迎える人が出会い、地域の魅力を共有し、共に笑顔になること、つまり「訪れる人も住む人も主役」の価値観が、地域観光の魅力の向上に繋がるということです。

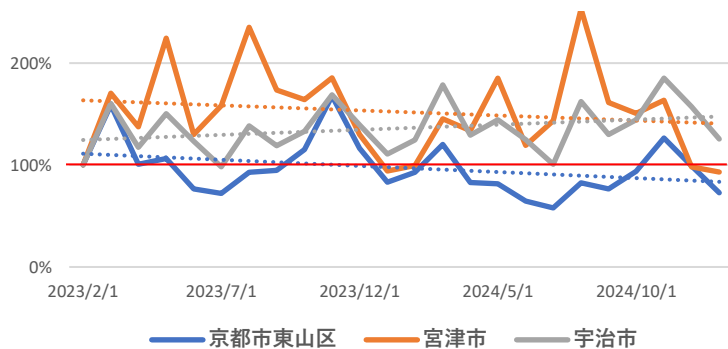
今春、「関西・大阪万博」が開幕し、来年秋には「全国都市緑化フェアin京都丹波」が開催されます。京都府観光連盟、エリアの市町の皆様はもとより、住民の方々にも参画いただき、一体となって盛り上がり、その得られた成果がその後の地域観光の財産となるよう皆さんで育ててまいりましょう。

観光連盟 データ分析Report

京都府内における国内およびインバウンド客の動向

国内客とインバウンド客の来訪と周遊に関する状況を、代表的な市区町を対象にビッグデータから調査

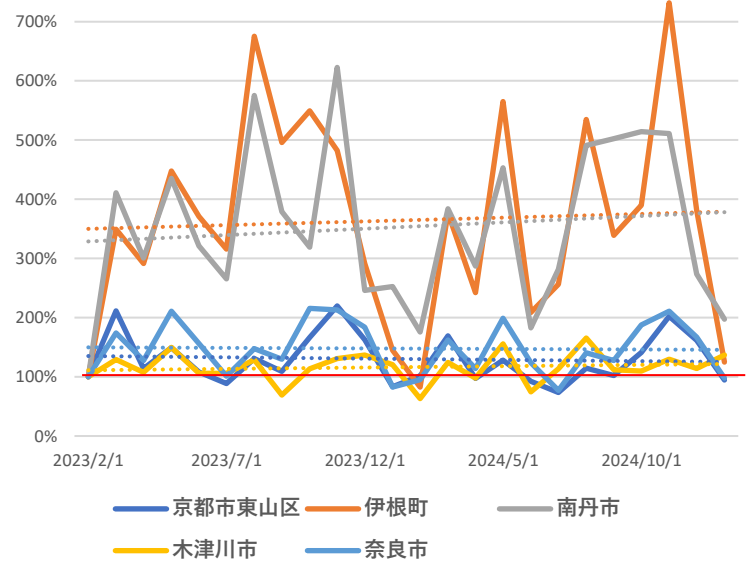
【1】国内客 来訪者（2023年2月比）



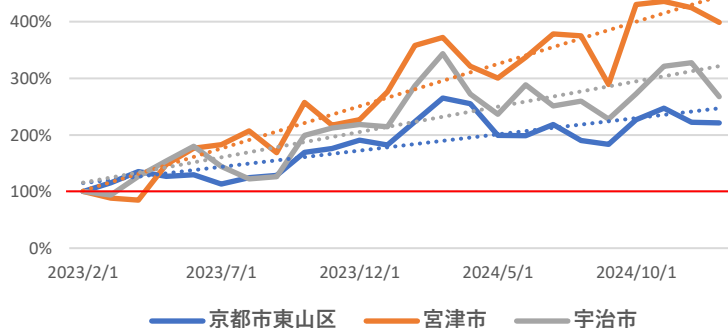
国内の遠方からの来訪者の推移【1】では、京都市東山区と宮津市は減少傾向である一方、宇治市は増加傾向が見られる。

宇治市への来訪客が周遊した市区町【2】を見ると、季節によって大きく変動するものの伊根町、南丹市、木津川市それぞれとの間で僅かに増加傾向がある一方で、京都市東山区や奈良市は僅かに減少傾向がある。これらから、国内客が減少傾向の中でも宇治市への来訪は好調で、またその方は森の京都や海の京都へも足を伸ばしていることが分かる。

【2】国内客 宇治市との周遊（2023年2月比）



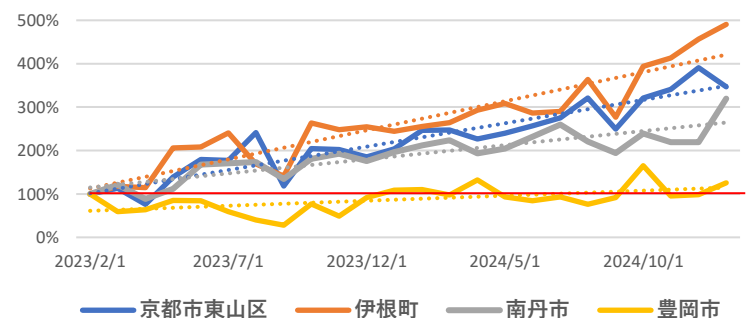
【3】インバウンド客 来訪者（2023年2月比）



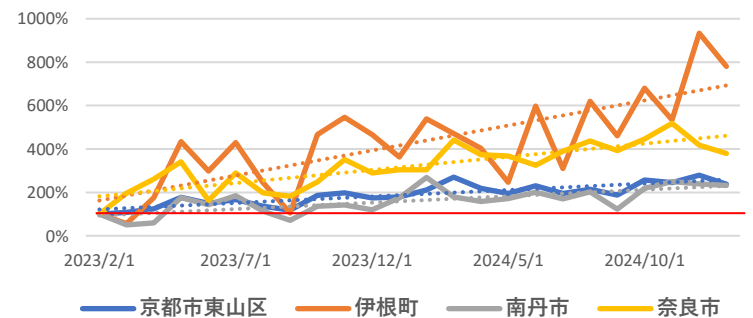
インバウンドの来訪者の推移【3】についてはいずれの市区も増加傾向が見られるが、京都府域の方が京都市東山区より大きく増加している。

宮津市との周遊【4】についてはいずれの市区町とも増加傾向であるが豊岡市との周遊の増加率は比較的小さい。また宇治市との周遊【5】については伊根町、奈良市との間でそれぞれ大きく増加している。これらから、インバウンド客は南北方向に広く周遊していることが分かる。

【4】インバウンド客 宮津市との周遊（2023年2月比）



【5】インバウンド客 宇治市との周遊（2023年2月比）



データ出典：Agoop（2023年2月～2025年1月データ）

国内客：遠方からの来訪者（居住地、勤務地から80km以上）を対象。

インバウンド客：中国本土を除いた世界各国からの来訪者を対象。

集計方法：来訪者推移は各市区の滞在時間が1～7時間の人をカウント、周遊推移は各スポットに1～24時間滞在した人をカウントし、2023年2月との比率をグラフ化。

<編集・発行者>

公益社団法人京都府観光連盟
令和7年4月30日発行

<事務局>

〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 府庁2号館3階
TEL:075-411-9990
URL:<https://www.kyoto-kankou.or.jp>